

淀川水系流域委員会
事務局 殿

淀川水系猪名川上流の余野川ダム中止要請文

貴職をはじめ関係機関における災害のない環境を創るための諸施策の推進に敬意を表します。しかし、20世紀後半における「猪名川総合治水」には多くの問題が生じ、環境の21世紀と言われる今日、それら諸問題を解決する真の総合治水と環境保全が求められています。

去る10月20日には、「止々呂美の開発を問う集い」のシンポジウムが余野川ダム反対連絡会準備委員会の主催で開催されました。当シンポジウムには箕面市下止々呂美地区の自然を守りたい有志たち総勢60数名が集結し、治水、利水、環境を中心にさまざまな議論が交わされ、改めて余野川ダムが不必要であることが確認されました。また、多くの団体、個人による「余野川ダム反対連絡会」が集会一致で結成されました。

この度は、当シンポジウムで賛同を得ましたアピール文を資料とともに提出させていただきますので、ぜひとも貴職にご一読頂き、淀川水系猪名川上流の余野川ダム計画の中止をここに申し入れます。

2002年 11月 5日

【賛同団体名】

緑と環境を守る箕面まちづくりセンター
箕面北部の自然と開発を考える府民の会・余野川ダム部会
NPO法人・環境にやさしい街づくり推進委員会
いがぐりの会
小野原西の開発を考える会
かんきょうネットワーク WA!!
箕面・みどりのひろば

余野川ダム反対連絡会 結成アピール

大阪府北部に広がる北摂山系の箕面市・止々呂美地域は、都市近郊にありながら里山などの豊かな自然環境をはぐくんできました。しかし今、かけがえのないその環境資源を台無しにする国土交通省の「余野川ダム事業」と、その周囲では大阪府などの「水と緑の健康都市」開発が進められています。この二つ事業は、下記のように環境と財政に大きな負荷を与え、また余野川ダム建設は治水、利水の両面でも極めて必要性に乏しい事業です。

● 環境への負荷 ●

二つの事業計画地域は、国の環境基本計画の里地自然地域に相当する豊かな自然生態系をはぐくんでおり、次世代に引き継がねばならない極めて貴重な財産です。

種の保存法の希少野生動物であるオオタカが繁殖、ニホンジカなどの大型動物をはじめダルマガエルなどの絶滅危惧種も多く生息し、昆虫の宝庫でもあります。

こうした自然生態系が損なわれることは、国際的にも重要性が認知されている生物多様性保全や、種の保存法の理念にも反するものです。

● 治水面 ●

余野川ダム事業の計画は約30年も前の昭和40年代に策定されましたが、猪名川と余野川は現況の河道形態になって以来、河道計画の変更を迫られるような深刻な水害を引き起こしておらず、事業は計画策定後の降雨や洪水の状況、河川改修の進捗などを考慮せずに進められようとしています。

また、計画では、猪名川（余野川合流点）の基本高水を毎秒3500トンとしています。既往最大洪水（昭和28年9月）の毎秒約1650トンの2.1倍にもなり、基本高水を極めて高く設定しすぎています。

猪名川の治水に対しては現行の改修計画を進め、破堤しない堤防への整備、調整池・遊水地・浸透設備の向上、内水排除施設などの総合治水を推進すべきです。

● 利水面 ●

余野川ダムから1日最大9万立方mの水道水を取得する予定の阪神水道企業団（尼崎、神戸、芦屋、西宮各市への用水供給事業体）は、今後の水需要が減少するため、新たな水源を確保する必要がありません。

また、「水と緑の健康都市」と止々呂美集落への給水計画は1日最大1万立方mとされていますが、ダム利水の場合に水道料金が2倍以上になる箕面市は、ダム利水を府営水道へ変更することにしており、ダムの必要性はなくなります。

以上の理由とともに、大きな財政負担も招く両事業を認めることはできません。

このため、私たちはここに「余野川ダム反対連絡会」を結成し、両事業の中止を事業主体に強く要請し、地域住民の方々などに広くアピールします。

2002年10月20日

2002年9月24日

国土交通省近畿地方整備局
淀川水系流域委員会 委員各位
淀川水系流域委員会猪名川部会 委員各位

社団法人 大阪自然環境保全協会

「淀川水系河川整備計画」において、国土交通省・余野川ダム建設などの
余野川ダム事業を中止とする意見表明の要請

謹啓 淀川水系流域委員会ならびに同委員会猪名川部会の各委員におかれましては、国土交通省近畿地方整備局の策定する「淀川水系河川整備計画」に関する審議にご努力され、敬意を表します。

ご承知の通り、国土交通省が大阪府箕面市下止々呂美において進めている余野川ダム事業は「淀川水系河川整備計画」の対象となっています。

私たちは2001年12月以来、この事業が、治水面、利水面で必要性が乏しいうえ、さらに自然環境と財政に対する負荷がきわめて大きい事業であるため、淀川水系流域委員会ならびに同委員会猪名川部会委員の方々に、この事業を同計画に位置づけず中止とする意見を表明していただき、国土交通省・近畿地方整備局・猪名川総合開発工事事務所に具申していただきますよう要請してきました。

さて、2002年10月には淀川水系流域委員会が「最終提案」をされ、その後、近畿地方整備局が「河川整備計画原案」を作成しますが、その中で、余野川ダム事業を継続して位置付けることは、当局側の発言（9月12日）によって明白になっています。

これは、これまでの同委員会・同猪名川部会において、余野川ダム事業についてはほとんど審議されず、さらに「中間とりまとめ」には取り上げられていないにもかかわらず、当局が独断で事業を進めることを決め、同委員会・同部会をないがしろにしていると言うほかありません。

余野川ダムの利水面における不必要性は、別途、的確な指摘（意見）が「関西のダムと水道を考える会」から水需要管理WGに提出（2002年9月10日）され、また環境負荷面での不必要性は私たち7団体の要請書（2001年12月3日付）のとおりですが、治水面における不必要性について別紙のとおり再度指摘させていただきますので、今後の同委員会・同部会において、このダム事業を同計画に位置づけず中止とする意見を明確に表明されますよう要請致します。

謹白

【治水面からみた余野川ダムの不必要性】

1. 実態にそぐわないダム計画

近畿地方整備局に行政文書の開示を請求し公開された「猪名川流域治水計画策定資料」および「余野川ダム洪水調節計画策定資料」によると、両計画はいずれも30年前後も前である昭和40年代に策定されたものであり、余野川ダム事業は、その後の降雨や洪水の状況、河川改修の進捗などの要素を考慮せずに進められようとしています。これは、淀川水系流域委員会・各部会の「中間とりまとめ」でも述べられている、今後の目指すべき河川整備計画の在り方に反しています。

●こうした点については、猪名川と余野川は現況の河道形態になって以来、河道計画の変更を迫られるような深刻な水害を引き起こしたことはなく、疎通能力と堤防の安全性をさらに向上させる工事が行われているという状況があります。

●余野川は、猪名川への合流点まで一貫して築堤区間のない掘り込み河川で、河川が現況に整備されてきた過程で、長時間浸水のような深刻な水害を生じていません。

●余野川合流点から下流の猪名川は、合流点の直下流部の河積拡大工事が完工しています。それよりも下流は現況の河川に形を整えられて以来、破堤や、溢水に近い水位が記録されたことはなく、藻川分派点までの河川敷は広く、必要に応じて低水路の拡幅は容易に図れるため、一庫ダムと併せて河道内で洪水流を処理することは容易です。

2. やはり大きすぎる基本高水量

主な洪水は、昭和28年、35年、42年、47年、58年、平成元年、11年などと記録されています。

●余野川合流点の猪名川の基本高水毎秒3500トに対して、既往最大洪水は昭和28年9月の毎秒約1650トで、2.1倍にもなります。

その後、毎秒1400トに迫る洪水が何回かありますが、ダムカット後の毎秒2300トの計画高水ですら既往最大流量毎秒約1650トの1.4倍もあり、基本高水は高すぎます。

●ダム計画時点までの流域平均最大日雨量の順位は、上記の既往最大流量を記録した昭和28年の142.2mmが8位で、1位・昭和35年の320mmと3位・昭和42年の176.2mmの流量は昭和28年よりも小さく、毎秒1360トと1363トで、昭和28年降雨が集中豪雨的であったことをうかがわせます。

●上記3降雨パターンを使った流出計算結果によると、昭和28年降雨パターンを用いた場合の毎秒3500トンは、他の2パターンを用いた場合の毎秒2400トと1800トとかけ離れた値です。これは上述のように、昭和28年降雨が集中豪雨の様相であったからと考えられます。

建設省の河川砂防技術基準案（いつまで経っても「案」ですが）では、基本高水は、算出した時間-流量関係群から、ピーク流量のカバー率が60~80%の値が適当である旨が示唆されています。流出計算のモデル数が3件だけ示されているので、カバー率はあまり意味をもちませんが、基本高水は、毎秒2400ト程度に採るべきです。

●また、余野川ダムへの導水路計画地点の基本高水量は毎秒260トと算出されていますが、この付近の河川の疎通能力は、川幅、川の深さ、河床の粗さ、川の曲がり方から見て、せいぜい毎秒100ト程度です。この計画流量では、導水路計画地点上流の河道に大幅な拡張が必要になります。この計画高水も現実的な値とは言えません。

●余野川自体は猪名川合流点まで、掘り込み型の河川で余野川自身の洪水氾濫対策にダムは要らないはずです。しかし、余野川下流部では、算出基本高水量は毎秒400トを超えますので、この流量に対して建前上はダムが必要、になってしまいます。猪名川流域に占める余野川の流域面積は約9%で、流路長も短く、猪名川の流量に占める余野川の役割は大きくないので、猪名川本川に対する余野川ダムの治水効果は高くありません。

3. ダム事業を中止し、総合治水の強力な推進を

これまで余野川ダム事業については、ほとんど審議されず、さらに「中間とりまとめ」には取り上げられていません。近畿地方整備局側によりますと（9月12日）、「河川整備計画原案」の作成にあたっては、上記のような過去の計画高水量や200年確率などの計画にとられないこととしながらも、猪名川部会で示された「壊滅的な被害を避ける」ために「ダムを」という短絡的な結論によって余野川ダム事業を進めることを、「河川整備計画原案」に盛り込む姿勢を見せています。同委員会・同部会は余野川ダム事業を中止する態度を表明すべきです。

●猪名川水系では昭和45年頃から河川整備が大規模に進められてきており、またかつての浸水原因である多田地域の塩川合流点付近と、余野川合流点上下流の疎通力向上工事が進んでいます。護岸や橋梁基礎工事は、昭和40年以前のものとは異なり、しっかりしたものが造られています。

●幅広い川では水深が少し大きくなると流量はそれに比例以上に増えます。猪名川では、かなり背の高い中州が目につきます。自然環境の立場からも、水環境に関わる川の自然を維持するため、こうした普段流れに曝されない、乾いた陸域を出水で冠水することがむしろ必要で、これらを除くすれば流下能力や河道貯留量はかなり増えます。

●猪名川の治水に対しては現行の改修計画を進め、洪水を深刻な水害としないように、破堤しない堤防への整備、調整池・遊水地・浸透設備・森林の涵養能の向上などの流出抑制、内水排除施設などの総合治水をより協力に進めるべきです。

(以 上)

「余野川ダムと水道利水」

2002, 10, 20

「関西のダムと水道を考える会」(野村)

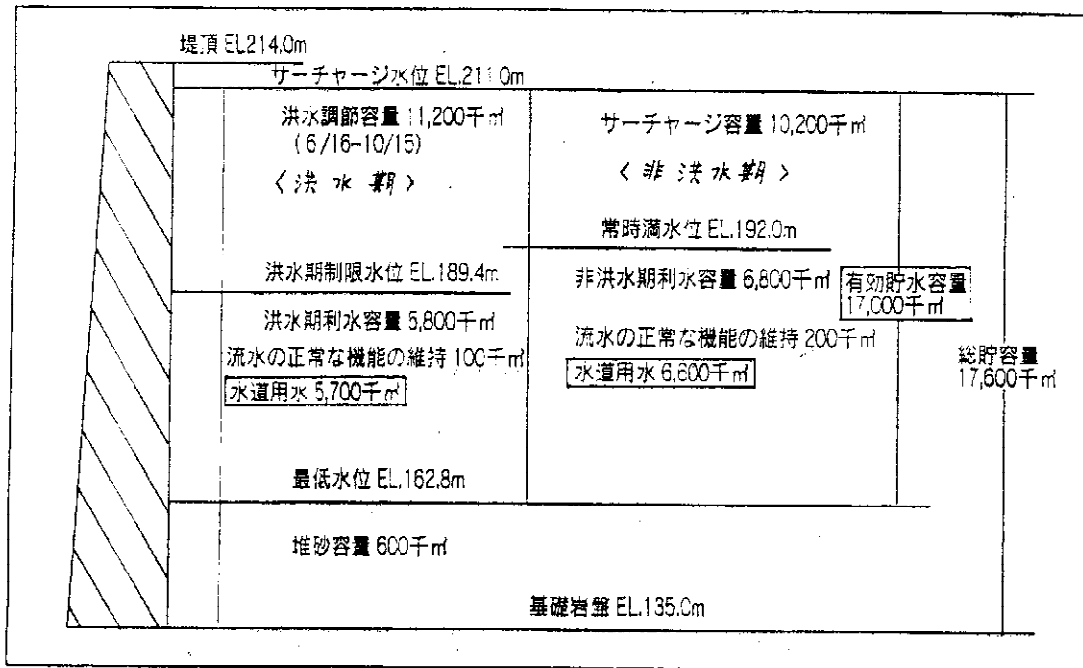
1) このダムの水道利水

- ・箕面市北部水道事業 10,000m³/日
(水と緑の健康都市、周辺既存集落)
- ・阪神水道企業団 90,000m³/日
(神戸・尼崎・西宮・芦屋の4市へ上水を供給)
- (計) 100,000m³/日

2) 「水道用水」がこのダムの有効貯水容量に占める割合

- ・非洪水期
 - a)水道用水 6,600 千 m³
 - b)有効貯水容量 17,000 千 m³
 - a) ÷ b) × 100 = 38.8%
- ・洪水期
 - a)水道用水 5,700 千 m³
 - b)有効貯水容量 17,000 千 m³
 - a) ÷ b) × 100 = 33.5%

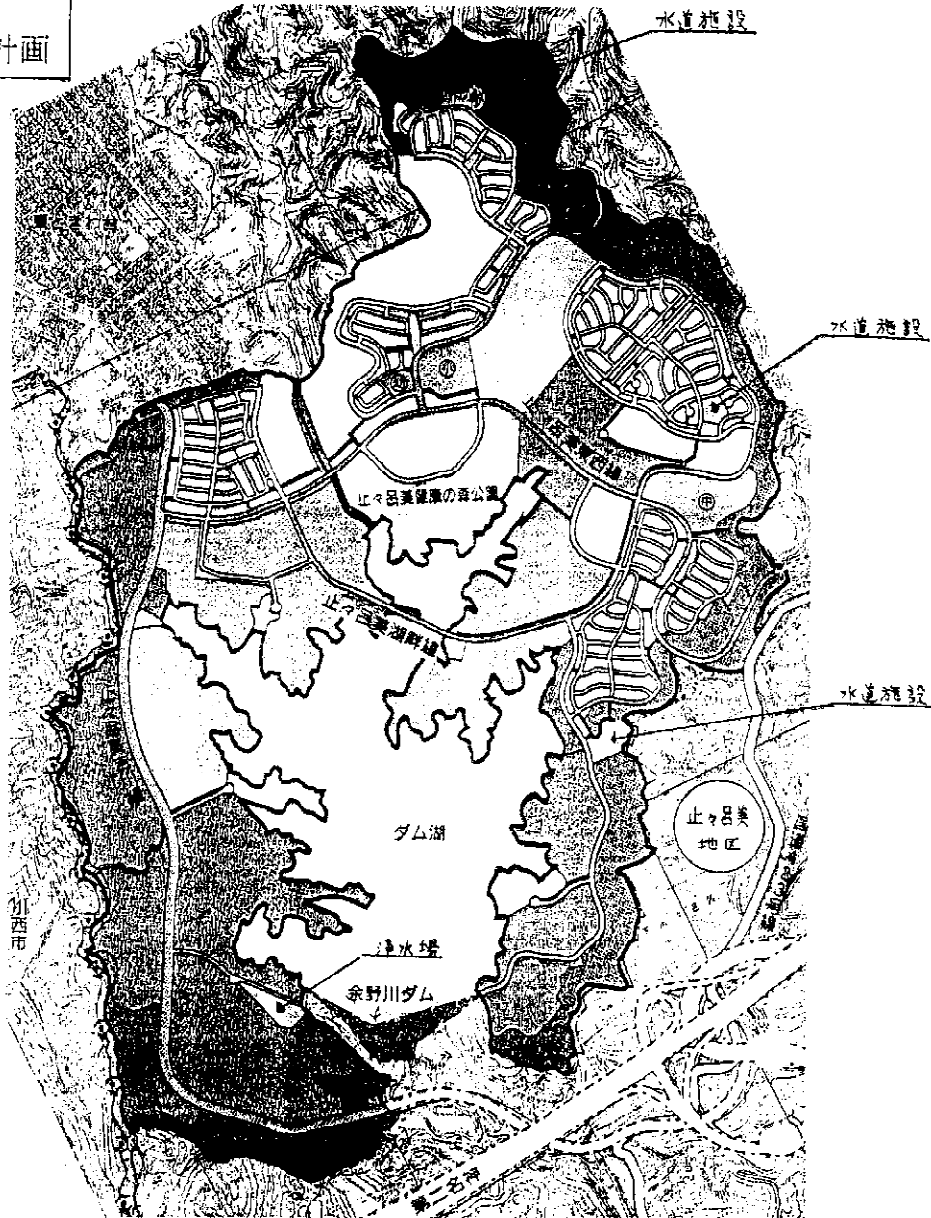
■余野川ダム貯水池容量配分図



洪水期制限水位 洪水期 = 6月16日～10月15日
非洪水期 = 10月16日～6月15日

※洪水期制限水位 (梅雨や台風などによって大雨が集中する洪水期に備えてあらかじめ下げておく水位)

当初の
箕面市北部水道計画



箕面の「水と緑の健康都市」

水源、府営水道に転換

府が
委
議
会
方
針

府は十六日、箕面市で開
発しているニュータウン
「水と緑の健康都市」に供
給する水源について、国が
建設中の「余野川ダム」か
ら府営水道に転換する方針
を明らかにした。新たに浄
水施設が必要なダムからの
取水に比べ、府営水道の場
合、既存施設の活用ができ、
開発した宅地を売却しても
約七百五十億円生じるとさ
れる差損を、数十億円減ら
すことができるという。

この日開かれた府議会企
業水道委員会で府企業局が
示した。同事業は、ダム湖
周辺の約三百四十haを開発
し、一万六千五百人が居住
するニュータウンをつくる
計画で、二〇〇五年に完成

する同ダムから一日二万ト
ン取水する予定だった。
ところが、開発予定地内
で絶滅が危惧されているオ
オカ力の営巣地が見つかっ
たことや採算面の問題か
ら、企業局が四千人規模の
町への計画縮小案を発表。
上水道施設を活用した方が
効果的だと判断した。

読売新聞
(H13,10,17)

大阪府営水道の給水図

事業計画概要

- 給水区域：32市10町1村
- 水 源：淀川、紀の川、安威川
- 計画最大給水量……253万m³/日
 - 淀川系……………233万m³/日
 - 紀の川系……………13万m³/日
 - 安威川系……………7万m³/日

水の味、健康都市に
なると地色

	府営水道の給水区域
	府営水道の給水外区域
	送水管
	計画または建設中のもの
	中継ポンプ場
	計画または建設中のもの
	浄水場
	計画または建設中のもの
	浄水池
	計画または建設中のもの

